

## 武蔵野市議会議員 島崎義司

## 武蔵野かわら版

☆島崎義司の市政レポート

平成17年 4月号

発行:武蔵野かわら版編集局/〒180-0022 武蔵野市境1-3-4-403/TEL&amp;FAX 54-8180/E-mail yoshiji@parkcity.ne.jp

◎毎日更新ホームページ <http://www.parkcity.ne.jp/~yoshiji/>

## ☆平成17年度予算可決。新・長期計画がスタート!

## 武蔵野かわら版 目次

☆平成17年度予算の概要 & 施策トピックス	Page 1~2
☆予算特別委員会 & 本会議 会派を代表して「賛成討論」	Page 2
☆新世紀対談 島崎義司vs小美濃安弘都議 「都と市との協働」を語る	Page 3~4
☆市政報告会のお知らせ 講師を招き子育て・教育の「講演会」を開催	Page 4

平成17年度がスタートしました。皆様益々ご清栄のことと存じます。

さて、武蔵野市議会では、3月1日から28日まで第一回定例会が開催されました。この3月議会は、次年度の予算案を審議する極めて重要な議会で、とりわけ平成17年度予算は、昨年、市政の今後10年の基本方針を定めた第四期基本構想・長期計画の初年度にあたることから、武蔵境南口への図書館を中心とした「新公共施設」や「防災・安全センター」建設に向けた設計着手、「乳幼児医療費の完全無料化」など、これまで懸案だった政策が一気に進み、同時に、昨年来、国内外で起きた自然災害や学校・住宅等での事件・事故の教訓も活かして敏速に施策に反映させるなど、これまで以上に行政のスピード感を感じさせるものとなりました。

この審査にあたり、私も会派より選任を受けて予算特別委員を務め、日ごろの「地域活動」や、一昨年来行ってきた「タウンミーティング」「団体ヒアリング」等での市民意見を踏まえつつ、市民生活に密着した視点で審査に臨み、委員会採決と最終本会議での議決に際しては、所属会派・自由民主クラブを代表して「賛成討論」を行いました。今回は、新たな時代に入った武蔵野市の予算を特集すると同時に、市政と密接に関連する都政の動きについて、小美濃都議にお話を伺いました。ご一読いただければ幸いです。

武蔵野市議会議員 島崎義司

## ☆平成17年度予算の概要 &amp; 施策トピックス

## ▽防災・安全施策を最重点に一般会計 548 億円

本市の財政は、国の三位一体改革による国庫補助負担金の削減や税制改正、都の財政再建推進プランによる施策の見直しなどで「国庫支出金」や「都支出金」の大幅な減少が見込まれ、一般会計の予算規模では、前年比55億円、9.1%の減、前年度の特別要因(※NTT等の市税還付金、減税補てん債借換債等)を差し引いた実質的な予算との比較でも0.3%の減となりました。

この厳しい財政事情を背景として組まれた平成17年度予算は、昨年策定された「武蔵野市第四期基本構想・長期計画」の初年度として、その優先事業である防災・安全対策、高齢者・子ども施策、緑化・環境対策、圏域ごとのまちづくりなどを重点項目に編成されました。

3月15日から23日まで開かれた予算特別委員会では、私も委員を務め、新時代の行政のあり方を徹底的に議論しました

が、とりわけ今回の予算は、新・長期計画に入ったこともあり、これまで私並びに会派として力を注いできた政策課題に真摯に取り組み、我々の議論や主張を幅広く的確に取り入れた予算組みとなったことを強く実感しました。

なお、紙面の都合上ここでは、平成17年度一般会計の予算規模と特徴的な施策をトピックスでご紹介したいと思います。

## ▽一般会計予算規模

区分	平成17年度	平成16年度	増減額	増減率	
				17年度	16年度
一般会計	548億円	603億円	- 55億円	-9.1%	11.0%
実質の一般会計	548億円	※ 549億 4807万円	- 1億 4807万円	-0.3%	1.2%

### ▽平成17年度施策トピックス

#### <防 災>

◎新規 ○拡大・充実

◎防災・安全センター（仮称）建設 5億 4106万円

※ 災害時の情報収集・伝達・指令を行う「防災」、テロや国民保護法制に対応する「安全」の“センター機能”と、IT関係機器や市民情報保護の環境整備。17年度は実施設計費用等を計上。

○家具転倒防止金具取付事業 1億 8807万円

※ 今後3カ年で市内全世帯設置を目指し、17年度は65才以上と身障者手帳2級及び愛の手帳2度以上の全世帯を対象に無料で取付ける。（一世帯：家具4台/1家具に付き2箇所まで）

○民間住宅耐震改修助成事業 5500万円

※ 改修費用の1/2助成、木造10万円・非木造50万円を上限。

◎小中学校耐震補強事業 2億 4000万円

※ 耐震補強工事：二小体育館、四小南校舎・体育館、本宿小校舎、関前南小体育館/耐震補強工事設計：五中南北校舎・体育館

#### <防 犯>

◎小中学校・保育園に防犯カメラ等設置 2668万円

※ 市内の小中学校全校に防犯カメラ4台・センサーライト2カ所、保育園全園に防犯カメラと門扉オートロックを設置。

◎住まいの防犯助成事業 200万円

※ 防犯性の高い鍵への交換や防犯ガラスへの交換など、民間住宅の防犯対策工事費用の1/2、上限1万円まで助成。

#### <子育て支援>

◎乳幼児医療費助成事業 1億 5589万円

※ 現在の都の助成制度に上乗せして、10月から市独自で就学前乳幼児に係る保険医療費の所得制限を撤廃して全額助成する。他市の医療機関で係った医療費は領収書をもって市に申請し精算。

◎産後支援ヘルパー試行事業 288万円

※ 出産後60日（多胎の場合1年）以内の産婦に対し、家事・育児のヘルパー派遣支援。本人負担額は1時間500円・一日4時間まで。

◎新たな認証保育所整備事業 6242万円

※ 三鷹駅北口に新たな都認証保育所を企業の協力を得て設置。

◎民間の放課後児童健全育成事業への助成 261万円

※ 民間による公・私立小学生の放課後健全育成事業を支援する。

#### <教 育>

○少人数指導等の充実 1890万円

※ 市独自の講師を配置し、課題により少人数学習指導等で学力・理解力の向上を図る。

○セカンドスクールの充実 1億 3361万円

※ 友好都市等農山漁村での長期宿泊型体験学習の内容充実と、プレセカンドスクール(4年生)の全小学校実施。

◎全小中学校の涼環境整備事業 1億 1020万円

※ 全小中学校の全普通教室に各4台の扇機設置と、全中学校の図書室にエアコンを設置。

#### <健康・福祉>

◎吉祥寺本町在宅介護支援センター事業 1億 1096万円

※ 市内六カ所目、吉祥寺本町に在宅介護支援センターを設置。小規模デイサービスや365日対応のショートステイも実施。

◎健康づくり支援センター開設 4822万円

※ 保健センター1階の旧健康ラウンジを改修し、健康づくり支援センターを7月に開設。生活習慣改善支援等の事業を行う。

#### <環境・市民生活>

○路上禁煙地区3駅周辺への拡大 4140万円

※ 現在吉祥寺駅周辺で行われている路上禁煙地区の設定とマナーポイントの設置を、三鷹駅・武蔵境駅周辺にも設定する。

○新元気をさせ商店街補助事業 7291万円

※ 商店会等の活性化事業に対し、都と連携して補助を行う。

#### <都市基盤整備>

◎武蔵境南口への「新公共施設」建設 26億 963万円

※ 境南口駅前の旧農水省跡地に図書館を中心とした知的創造拠点となる施設を建設。17年度は基本設計・実施設計に着手。

◎JR中央線・西武多摩川線高架化事業負担金 5億 9009万円

※ 武蔵野市17年度負担分。JR線事業総額1720億円（JR10%・国45%・他45%〔都7割・6市3割〔武蔵野市18.6%＝40億円〕〕/西武線事業総額70億円（西武10%・国45%・他45%〔都7割・武蔵野市3割＝9億円〕）。高架下（武蔵野市分JR線部分1万3000㎡/西武線部分4500㎡）の利活用が課題。

◎ムーブス新規路線調査 600万円

※ 交通空白・不便地域の更なる解消のための新規路線調査。

#### <行政サービス>

◎よくある市民相談Q&Aの作成と公開 166万円

○市ホームページの全面リニューアル 1400万円

※ 見やすく、探しやすく、わかりやすいホームページへ。

☆ 以上、ここでは新規事業を中心に特徴的な施策のみご紹介致しました。なお、平成17年度予算の詳細と主要施策は「市報」(3/15予算特集号)等に掲載されておりますのでご参照いただければと存じます。

## ☆予算特別委員会 & 本会議 会派を代表して「賛成討論」

### ▽新・長期計画を着実に進め

#### 市民生活の実情に即した施策を評価

自由民主クラブを代表し、平成17年度一般会計・4特別会計・1企業会計予算に賛成する。

昨年来の自然災害等を教訓に、家具転倒防止金具取付け事業の拡充や、緊急時に拠点機能を果たす防災広場・公園の整備、公共施設の耐震診断や下水道の耐震化、市民の安全確保に対応する防災・安全センター建設計画の着実な推進など、防災・安全対策が一層進むことを高く評価する。

地域の安全では、今年2月の寝屋川市立小での事件を受け、公立小・中学校・幼稚園の児童・生徒の安全確保チェックリストの再点検や安全管理・指導の強化、既存の危機管理マニュアルの見直し等、緊急安全対策を講じ、更に17年度は、全ての公立小・

中学校と保育園に、防犯カメラ・センサーライト・門扉オートロックなどが設置されることになった。録画や監視態勢など、機器の有効運用を期待する。ただし、安全性に過敏にならずに学校が閉鎖的になってはならない。地域で見守る学校に向けて、更なる地域防犯力向上対策の研究を要望する。

その他の施策についても、市民生活の実情を深く理解して、住宅の防犯対策工事費用の一部助成、在宅介護支援複合施設の整備や介護予防施策の推進、乳幼児医療費の完全無料化や民間幼稚園への総合的な支援、仙川の親水化、商業振興や圏域ごとのまちづくりの推進、行革の推進等、新・長期計画や喫緊の行政課題にも着実に対応する予算と判断できる。引き続き、市民の目線で丁寧かつ効率効果的な行政運営を行うよう要望する。

※ なお、私の質疑や討論の詳細については、私のホームページ「いんたーねっと武蔵野かわら版」(www.parkcity.ne.jp/~yoshiji/)等でご覧頂ければ幸いです。

### ☆新世紀対談 島崎義司 vs 小美濃安弘都議

市民の安全を守る「警察」「消防」、地域の公衆衛生活動の拠点「保健所」、市内の小・中学校の「教員」、市内を走る幹線道路 天文台通り・田無通り・井の頭通り・五日市街道などの「都道」、市民の憩いの場 小金井公園・武蔵野中央公園・井の頭公園などの「都立公園」、武蔵野の面影を今に伝える「玉川上水」、踏切事故が多発し武蔵境を南北に分断していたJR中央線・西武多摩川線高架化などの「都市計画」。

これらはすべて私たちの身近に存在する都政であり、市政と都政は極めて密接に関連しています。そこで今回は、都政の立場から様々な面で武蔵野市政をサポートして頂いている 小美濃安弘 都議会議員を迎え、「都と市との協働」について語っていただきました。

### 安全・安心の東京を創る

東京都議会議員

#### 小美濃安弘

##### ◇Profile (おみの やすひろ)

昭和37年 武蔵野市生まれ  
 極の実幼稚園、武蔵野市立本宿小、三中、東京電機大学高等学校卒業  
 60年 東京電機大学建築学科卒業  
 住宅メーカーに就職  
 平成 7年 武蔵野市議会議員に初当選(市議2期)  
 13年 東京都議会議員に初当選(現在1期)

☆都議会文教委員、財政委員を経て、現在、厚生委員。武蔵野市都市計画審議会委員、一般建築士。家族は妻、長女(13)、長男(10)。



だが、これは都市間の日ごろの交流が有効に作用した好例です。市では10年前の阪神大震災以来、地域での備蓄食料や水、防災公園や防災機器の整備などを進めてきましたが、今回の地震災害に学んで17年度からは、個人の住宅の震災対策にも一層力を入れるようになりました。東京都の最近の取組みを教えてください。

**小美濃** 中越地震において瓦礫の下から尊い幼い命が救出されました。東京消防庁ハイパーレスキュー隊の活躍です。都内には3隊配置されていますが、中越地震で救出作業を行ったのは、我が多摩地域の第八方面部隊です。今後、ハイパーレスキュー隊の拡充・強化をしていくことが、わが党の代表質問で明らかになりました。

**島崎** 防火対策も重要です。武蔵野市の出火原因を調べたら、ここ数年は4割が放火、その他、たばこ・コンロ・電気がそれぞれ1~2割との統計があります。都では火災による死亡原因の4割を占める“逃げ遅れ”対策として、昨年10月から住宅にも火災警報器を義務付ける条例が施行され、私も予算委でその辺の質疑をしました。この連携には若干課題を感じました。

**小美濃** 東京消防庁武蔵野消防署と武蔵野市消防団は大変素晴らしい連携ができており、昼夜を問わず市民の安全・安心に務めています。そういう意味では消防行政は「都と市と協働して」行う施策の最たるものだと考えています。また、消防と同時に救急業務も大切です。特に心臓発作を起こした場合、1分の遅れが命取りになることもあります。東京消防庁では心臓発作に対して一般の人にも作動できる「AED」という装置を公共の場に順次配置しています。

**島崎** 食の安全も課題です。4年前、小美濃都議が初当選した直後にBSE問題が起きました。実は実家が食肉・食品販売・飲食業を営んでいることもあって、食品衛生問題は市政の今後の大きな課題と考えていました。食品業界にとってはまさに死活問題です。そのようなときに出てきたのが、都の保健所統合問題(武蔵野市→府中市)でした。武蔵野市は商業都市として飲食店がひしめき、それがまちの活力にも繋がっています。杓子定規な都の対応には憤りを感じましたが、その際、小美濃都議には関係者等とも相計ってこの計画阻止にご尽力を頂きました。

### 治安・防災・衛生 市民の安心に全力

**島崎** 私が市議になった6年前、吉祥寺駅周辺では目にあまる風俗店の客引きやチラシ配り、中学生にまで及んでいたスカウトの実態など深刻な事態を迎えていました。この現状に真剣に取り組んでいたのが当時の小美濃厚生委員長で、住民からの客引き・商行為の取締りを求める陳情に主導的に対応し、地域住民との対話集会等を重ねたうえで、平成12年3月議会で同陳情を採択、その後の14年6月議会で「生活安全条例」「つきまとい勧誘防止条例」成立へのルールを敷きました。その間に行われた都議選では「今こそ安心できる東京を創ろう!」をスローガンに掲げ、当選後、小美濃都議は東京の治安回復に取り組んでこられました。これまでの取り組みや治安の現状を伺います。

**小美濃** 私は年々複雑化・多様化する犯罪に対して、警察を中心に消防など関係機関や地域が連携した協議会を作り、犯罪抑止に当たることが不可欠であると訴え続けてきました。平成14年には都内で発生した刑法犯は30万件を超える事態となり、石原知事は治安対策を都政の最重要課題としました。その後、治安担当副知事を先頭に「安全・安心街づくり協議会」が発足し、治安対策に全力で取り組んでいます。おかげさまで、都内の犯罪は減少傾向にあります。

**島崎** 防災についてですが、昨年来、国内外で地震等の災害が頻発していますね。中越地震の際には、武蔵野市も他の姉妹友好都市と連携して新潟県小国町に人的・物的支援を行いました。

### 市民の力、豊かな武蔵野

武蔵野市議会議員

#### 島崎義司

##### ◇Profile (しまざき よしじ)

昭和41年 武蔵野市生まれ  
 武蔵野市立二小・六中を経て、拓大一高卒業  
 63年 拓殖大学商学部卒業  
 衆議院議員の秘書を9年間務めた後、実家の食品会社に勤務  
 平成11年 武蔵野市議会議員に初当選(現在2期)

☆現在、市議会文教委員、議会運営委員長、鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会委員、湖南衛生組合議会 監査委員、(社)武蔵野青年会議所 副理事長などを勤める。家族は、妻、長女(8)、長男(5)。



**小美濃** O-157やBSEなど食の安全に対して問題意識を持っている市民の方は多いと思います。そんな時、武蔵野三鷹保健所が府中市に統廃合されることになりました。武蔵野地区は特に飲食店が集中していたこともあり、何とか分室機能を残せないかと議会で訴えました。土屋市長や島崎議員にもご尽力頂き、分室として昨年4月「地域保健センター」がスタート、食品衛生だけでなく、環境、医療分野など従前とほぼ変わらない機能を残すことができました。

# 協働して

# 都と市と

### 子育て・教育 子ども達の未来に全力

**島崎** いま教育問題がクローズアップされています。学校週五日制やITの発達などで、学力低下や体力不足、コミュニケーション能力の低下等が問題となっています。武蔵野市では、人間関係育成の観点からも、学校においては一定のクラス規模が必要との考え方に立ちつつ、課題により少人数学習指導等を進め、今年は市独自に詳細な学力調査を行って学力の向上を図ります。また、都市と農村の共生を理解するセカンドスクールなどの体験学習も拡充しています。小美濃都議はこれら武蔵野の経験や取り組みを活かして、都議会で提言を続けていっしょにやりますね。

**小美濃** 子供たちに一番必要なのは体験教育です。特に「自然体験教育」は自然の素晴らしさ、農村の人の温かさに加えて、暑さ・寒さ・空腹感など普段ではできない経験をすることにより人間力の育成に役立つものと



思います。武蔵野市のセカンドスクールは東京都でも検討課題になりました。今後は、都内全公立小学校で実施できるよう引き続き都議会で訴えていきます。教育に関してもう一点、私は「日本の伝統・文化」に対して、親しみのもてる教育が今後さらに必要だと考えています。「教科書問題」を始めとする近隣諸国の内政干渉により、大切な日本の「伝統」や「文化」がないがしろにされる危険性について、島崎議員はどう考えますか。

**島崎** 残念ながらこれまでの教科書を見ると、とりわけ近現代史についてはどこの国の立場で述しているのか疑いたくなるような自虐的な表現が散見され、これが日本の「主権意識」や「公正な歴史観」を阻害する要因になっていたのではないのでしょうか。中・韓両国が名指して批判する「歴史教科書」は前回市販されて話題となり、私も読んでみましたが、彼らの批判はまったくあたらない、日本人からすれば極めて穏当な教科書だと思いました。大事なことは、我々日本人自身が自国の「主権」や「歴史」を正しく理解し、もっと自国の立場をはっきりと主張できる国民になることだと思います。

**小美濃** 私も、都議会の文教委員会や予算委員会等で、国旗・国歌の適切な取り扱いや伝統・文化教育の重視など、子ども達が自国に誇りの持てる教育がなされるよう訴え続けています。「都と市が協働」して、教育改革にあたっていくことが重要です。

**島崎** そのとおりですね。これからも市政へのサポートを宜しくお願いします。きょうはお忙しいところをありがとうございました。

## ☆市政報告会のお知らせ 講師を招き子育て・教育の「講演会」を開催

毎年恒例の「市政報告会」を、今年は下記の日程で開催させていただきます。

今回は、市民の皆様へ、身近な視点から都政・国政と市政との繋がりや課題に関心を持って頂けるよう、島崎義司の「市政報告」の他、山谷えり子参院議員と小美濃安弘都議をお招きして、それぞれ「講演」「都政報告」を頂くことに致しました。

また、「報告・講演会」終了後は、同会場となりの部屋で会費制（講演会のみの方は会費不要）にて「懇親会」を開催致しますので、あわせてご参加頂ければと存じます。

ぜひ、お誘いあわせの上、ご来場くださいますよう心よりお待ちしております。

記

日時：5月21日（土）午後6時より受付、6時30分開会

場所：武蔵野スイングホール11階（JR中央線武蔵境駅北口駅前）

講演：山谷えり子参議院議員、小美濃安弘都議会議員

会費：2,500円（懇親会費／入場時登録）

### 家族、教育、国なおし。

参議院議員 山谷えり子

◇Profile（やまたに えりこ）

- 昭和25年 武蔵野市生まれ
- 48年 聖心女子大学文学部卒業  
新聞記者等を経て、TVキャスター、エッセイストとして活躍
- 60年 サンケイリビング新聞（発行部数約900万部）  
世界最大の主婦向け情報誌）編集長
- 平成12年 衆議院議員に初当選（衆院1期）
- 平成16年 参議院議員（比例区）に初当選（現在1期）

☆現在、参院外交防衛委員会委員、予算委員会委員、北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会委員を務める。教育問題、青少年問題等、子供達を取り巻く現状を憂い教育改革に奮闘中。日本ペンクラブ会員、日本記者クラブ会員。著書に「走りつけてー父・山谷親平5601回目の朝」「はりきりママのかしこ子育て」など多数。一男二女の母。



- ※ 小美濃都議のプロフィールは3ページをご参照ください。
- ※ お申し込みは 島崎義司（TEL&FAX 0422-54-8180 / E-Mail [yoshiji@parkcity.ne.jp](mailto:yoshiji@parkcity.ne.jp)）まで。